

1 つづけて みよう ― 日記 ―

よみ、いみ、文をこえにだしてよんで、それからノートにかきましよう。

書

よみ しまい
しよ かに
かく

(1) 字をかく
(2) 本

書

- 文① 見たことやきいたことをくわしく書く。
- ② 犬のタロのことをさく文に書いた。
- ③ と書かんで本をかりた。
- ④ きょうか書の文しようにをよむ。

きょうか
教科書

記

よみ つづけてみよう 日記
き しるす
(1) かく
(2) かったもの

記

- 文① まいにち日記をかいています。
- ② ヒマワリのかんさつ記ろくをつける。
- ③ オリンピックしん記ろくが出た。
- ④ ちよつとすまして記ねんしやしんととった。

にっき
日記

活

よみ しまいにちの生活をふりかえりましよう。
かつ
(1) いきる
(2) げんきよくうごく

活

- 文① さむい国の生活をしらべた。
- ② 生活かは、三じかんめだ。
- ③ 四年生からクラブ活どうがはじまる。
- ④ あには、しあいで大活やくした。

せいかつ
生活

曜

よみ 四月二十四日(金曜日)
いみ ようび

曜

- 文① 日曜日がまちどおしい。
- ② 水曜日に、ずこうがある。
- ③ きょうは、なん曜日ですか。
- ④ 一しゅうかんの曜日を書きましよう。

きんようび
金曜日

2

日記 声のもののさし 「えいっ」

よみ、いみ、文をこえに出してよんで、それからノートに書きましょう。

A 12 ページ

朝

朝、きかえていたら、はがぬけました。

よみ ちよう あさ いみ

文① 月曜日は、朝かいがある。

② 朝はやくおきました。

③ 朝ごはんをしっかりとる。

④ 朝日がのぼってきた。

ちようかい 朝会

A 14 ページ

声

声の大きさをかんがえましょう。

よみ せい こえ いみ こえ

文① 大きな声で、はっぴようする。

② よなかに大声で、はなさないこと。

③ かぜをひいて、声が出なくなった。

④ 子どものわらい声が、きこえた。

おおごえ 大声

おんせい 音声

A 16 ページ

読

書くとおなじでも、読むとちがうことば。

よみ 読む どう よむ いみ

文① 大きな声で、本を読んだ。

② 書いた文は、読みかえてみよう。

③ スーホの気もちになって、音読した。

④ 読書のじかんがはじまった。

おんどうく 音読

どくしょ 読書

A 18 ページ

行

町へポップコーンを、かいに行きました。

よみ こう・ぎよう おこなう いみ

文① きゆう行れっ車にのって、とおくへ行った。

② なつ休みにりよ行をした。

③ あす、うんどうかいを行います。

④ はじめから四行めまでを読む。

いく・ゆく 行く・行く

おこなう 行なう

文① きゆう行れっ車にのって、とおくへ行った。

② なつ休みにりよ行をした。

③ あす、うんどうかいを行います。

④ はじめから四行めまでを読む。

いく・ゆく 行く・行く

おこなう 行なう

3

「えいっ」

よみ、いみ、文をこえにだしてよんで、それからノートにかきましょう。

A 18 ページ

言

「：わたってはいけないよ。」と、とうさんが言いました。
よみ げん・ごん
こと い(う)・はなす
(2)(1)ことば

言言言

文① 先生が「がんばってね。」と言った。
② じゅぎょうで三かいのはつ言できた。
③ 早口言が、とくいです。
④ ひとり言を言う。

はつ言 げん
こと 言ば・ひとり言 ごと

A 19 ページ

通

車が、どんどん通っていきます。
よみ つう
とおる・とおす
かよう
(2)(1)とおる
(2)かよう

通通通

文① こう通じこがふえている。
② 車が通るみちは、気をつけてあるこう。
③ 町の大通りがあるく。
④ 学校に通うみちは、きまつている。

こう 交通 つう
とお 通る・通う かよ

A19,23 ページ

今

まいにちのできごとを書きとめましょう。
よみ こん
いま

今今今

文① 今ばんは、とくにあつい。
② 今やは、お月見だ。
③ ただ今、かえりました。
④ 今だ、つなをひけ。

こん 今夜 や

A 21 ページ

黄

まいにちのできごとを書きとめましょう。
よみ おう
き
いみ
きいろ

黄黄黄

文① 黄土いろのかべのいえがあります。
② しんごうが、黄いろにかわった。
③ イチョウのはが、黄いろになった。
④ たまごには、白みと黄みがある。

おう 黄土 いろ
き 黄み

よみ、いみ、文を声に出して読んで、それからノートに書きましょう。

A 21 ページ

色

「あれ、黄色だよ。」

よみ
しよく
いろ

いみ
(1)いろ
(2)ようす

ノ
々
名
名
色

文①

① みどり色のマフラーをあむ。

② 二十四色の色えんぴつをつかってみた。

③ 色しにサインしてもらう。

④ かお色がよくないね。

二十四色
しよく

しき
紙

A 22 ページ

思

「ぼくのとうさん、えらいんだ。」と、くまの子は思いました。

よみ

し

おも

いみ
おも

かんがえる

田
思
思

文①

① ゴールを目ざして思いきりはしった。

② 「やったあ。」と思わず言った。

③ えんそくの思い出を、えにかく。

④ ふ思ぎなことがおきた。

おも
思い出

し
思ぎ

A 23 ページ

星

「星を出してみせるから。」

よみ

せい

ほし

いみ
ほし

日
戸
旦
星

文①

① 星が、きらきらひかっている。

② 天の川は、星のあつまりだ。

③ あねは、星うらないがすきです。

④ ながれ星に、ねがいごとをする。

あま
がわ
天の川

ぼし
ながれ星

A 25 ページ

夜

「今夜も、そうだった。」

よみ

よ

よる

いみ
よる

一
一
夜
夜

文①

① 夜になってホタルがとんだ。

② 夜になってから、いえについた。

③ 夜中に、目がさめた。

④ 今夜は、月夜です。

よなか
夜中

こんや
今夜・つきよ
月夜

5

「えいっ」

よみ、いみ、文を声に出して読んで、それからノートに書きましょう。

A 26 ページ

電

電車のきっぷのじとうはんばいきに、お金を入れました。

よみ 電
いみ でんき

文① 電気をけしてからねる。
② 電車が、はしっている。
③ ともだちに、電わをかけた。
④ ゲームきの電ちを、とりかえた。

でんき 電
でんしゃ 電車
でんわ 電話
でんち 電池

A 28 ページ

何

だまって、何かかんがえています。

よみ なに
いみ たずねることは

文① えっ、何か言いましたか。
② おじいちゃんは、何でもしってるね。
③ いま何時ですか。
④ 何人あつまりましたか。

なに 何
なん 何
なんじ 何時
なんにん 何人

A 32 ページ

船

のりものをあらわす言葉 車 電車 船

よみ ふね
いみ ふね

文① 大きな船で、がいこくへ行きたい。
② シンドバットは船のりだった。
③ おとうさんは、船ちようです。
④ かもつ船が、とおくに見えた。

ふね 船
ふね 船
ふね 船
ふね 船

C 32 ページ

汽

のりものをあらわす言葉 汽車

よみ き
いみ ゆげ・じよう気

文① 汽車のねんりようは、石たんです。
② 汽車にのってみたいな。
③ 大きな汽船のしやしんを見た。
④ 船の汽てきがボーとなった。

き 汽
きしゃ 汽車
きせん 汽船
き 汽
き 汽

文① 汽車のねんりようは、石たんです。
② 汽車にのってみたいな。
③ 大きな汽船のしやしんを見た。
④ 船の汽てきがボーとなった。

き 汽
きしゃ 汽車
きせん 汽船
き 汽
き 汽